



明化の教

12月号 (第506号)
令和4年12月1日
文京区立明化小学校
校長 熊倉 勝

自分の大切さとともに他の人の大切さを認める

校長 熊倉 勝



どの学年も仲間と力を合わせて一つの劇を創り上げていく楽しさや素晴らしさを味わうことができた明化座でした。

11月17・18・19日の3日間にわたって行われた学芸会『明化座』には、多くの保護者の皆様にご観劇いただきありがとうございました。子供たち一人一人が自分の役割を果たし、生き生きと演じている姿に頼もしさを感じました。マスクをしていましたが、それを感じさせないくらい、子供たち一人一人の声や気持ちがしっかり届いていて、素晴らしい演技でした。特に19日の保護者鑑賞日には、子供たちは今まで以上に力が入り、最高の演技ができたと思っています。保護者の皆様に見ていただくことが、子供たちの大きな力になっていることに間違いありません。

また、今回の明化座でも、“つなぐ”ことを大切

にし、児童鑑賞日を2日間に延長して、他学年の演技を生で鑑賞することにしました。子供たちは、互いの演技を見合うことで大きな刺激を受け、他の人の演技のよさを自分の演技に活かす姿が見られ、本番3日間でも成長を感じました。子供たちの学ぶ力は計り知れないものです。

さて、今週から12月に入りました。12月4日から10日までは「人権週間」です。昭和23年12月10日、国際連合第3回総会において、全ての人民と全ての国とが達成すべき共通の基準として、「世界人権宣言」が採択されました。世界人権宣言は、基本的人権尊重の原則を定めたものであり、初めて人権保障の目標ないし基準を国際的にうたった画期的なものでした。採択日である12月10日は、「人権デー (Human Rights Day)」と定められています。法務省の人権擁護機関では、昭和24年から毎年、人権デーを最終日とする1週間(12月4日から12月10日)を「人権週間」と定め、その期間中、各関係機関及び団体と協力して、全国的に人権啓発活動を展開し、人権尊重思想の普及高揚を呼びかけています。

学校での人権教育の基本理念は、子供にも分かりやすい言葉で表現すると「自分の大切さとともに他の人の大切さを認める」ことです。そのためには、自分や友達のよいところやすてきなところを知っていることが大切です。子供たちが互いによさを認め合い、関係がさらに良好になることで、学びが促進され、子供たちが自他を大切にし、安心して学校生活を送ることができるようになるのではないかと考えます。今月は、2学期の締めくくりでもあります。2学期を振り返り、自分や友達のよさ、頑張りを認め合うことで良好な関係を深め、新たな活動への意欲につなげていきます。

カレンダーも残すところあと1枚となりました。本年も本校の教育活動にご理解とご協力を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。よいお年をお迎えください。